

■用途
自転車競技場

■建物概要
地下1階・地上3階
長軸方向119m×短軸方向93m
頂上部高さ27m
鉄筋コンクリート造
常設観客席1,800席
インフィールド2,000㎡
最大4,500人収容

■トラック
ラルフ・シューマン設計
周長250m
幅員7.5m
最大傾斜角度45°
シベリア松使用



IZU VELODROME
日本初屋内型250m木製トラック自転車競技ドーム



自転車の国
サイクルスポーツセンター

〒410-2402
静岡県伊豆市大野1826
一般財団法人日本サイクルスポーツセンター
競技振興部
TEL 0558-79-0004
FAX 0558-79-0036

一般財団法人日本サイクルスポーツセンターの概要と

伊豆ベロドロームの建設経緯について

一般財団法人日本サイクルスポーツセンター（本部所在地：東京都品川区上大崎3丁目3番1号、代表者：会長 平柳豊）は、昭和40年6月、当時の文部省並びに通商産業省の認可を受けて設立され、昭和46年8月、伊豆修善寺に事業所を開設して以来、「自転車を中心とした生涯スポーツ施設」を目指し、自転車競技の振興と自転車の普及促進に尽力してまいりました。

近年においては、地元行政との連携により“サイクルメッカ伊豆”の実現に向けた取り組みを行う一方、国際自転車競技連合が提唱するワールドサイクリング構想の一翼を担うアジア地区の拠点「コンチネンタル・サイクリング・センター修善寺」として、日本ばかりか、アジアにおいても自転車競技界の中心的な役割を担っております。

また、平成21年6月2日付で文部科学省から「ナショナルトレーニングセンター自転車強化拠点施設」の指定を受け、同省と施設活用事業に関する委託契約を締結し、ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設としての活動も開始いたしました。

「ナショナルトレーニングセンター」は、我が国のトップレベル競技者の強化・育成活動の充実に図るための施設であり、中核施設である東京都北区西が丘のナショナルトレーニングセンターと24競技別強化拠点施設とから構成されています。

このうち競技別強化拠点施設は、冬季競技、海洋・水辺系競技、屋外系競技及び高地トレーニング等、中核施設では対応できない競技について、既存のトレーニング施設の中から拠点施設を選定し、中核施設とのネットワーク化等、施設の高機能化に係る事業を実施することにより、トップレベル競技者が、より質の高い育成・強化活動を行うことが可能な環境の整備を図ろうとするものであります。

現在、日本サイクルスポーツセンターには、ロード競技のできる5キロサーキット・2キロサーキット・クリテリウムコース、トラック競技のできる400メートルピスト・333メートルピスト・250メートルピスト（屋外型）、BMX競技のできるBMXコース、MTB競技のできるMTBコースが完備されており、オリンピック競技大会における自転車競技4種目は全て訓練並びに体験が可能となっているほか、変わり種自転車・サイクルモノレールを始めとする自転車体験型施設や多目的ホール（ウエイトトレーニング場と室内フットサル場）・体育館等の健康増進施設も取り揃えています。

これらに加えて、オリンピック競技大会や世界選手権大会等世界レベルの大会が屋内型板張り250mトラックで開催されている現状を鑑み、自転車トラック競技の普及と日本人選手の国際的競技力向上を図るとともに、サイクルメッカとしての地位を確固たるものとし、地域スポーツを牽引していくため、競輪公益資金の補助を受けて、平成21年度から屋内型板張り250mトラック「伊豆ベロドローム」の建設を進め、平成23年9月25日に竣工・同年10月1日から運営を開始する運びとなりました。